

第2学年 算数科学習指導案

日時 令和2年9月4日(金) 6校時
児童 男10名 女5名 計15名
授業者 泉田 さとみ

1 単元名 ひっ算のしかたを考えよう(東京書籍 2年)

2 単元について

(1) 教材について

本単元で扱うたし算とひき算の筆算は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

第2学年 A数と計算 (2)加法、減法

育てたい資質・能力

【知識及び技能】

- (ア) 2位数の加法及び減法の計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解すること。計算が確実にできること。筆算の仕方について理解すること。
- (イ) 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。
- (ウ) 加法及び減法に関して成り立つ性質について理解すること。

【思考力、判断力、表現力】

- (ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。

【学びに向かう力、人間性】

数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(2) 児童について

(3) 指導にあたって

- ・算数の問題を進んで解く児童が多い。
- ・ペア学習では、自分の考えを友だちに伝えることができるようになってきた。
- ・根拠を聞くと、自信をもてず挙手が少なくなってしまう。
- ・ $2\text{位数} + 2\text{位数} = 2\text{位数}$ 、 $2\text{位数} - 2\text{位数} = 1$ 、2位数の筆算は、理解しているが、見直しが不十分な児童がいる。
- ・聞く力が弱い児童がいる。

- ・筆算の答えを出す前に答えを見積もることで大きな誤りをしていないか判断したり、数感覚を高めたりする。また、計算した後に確かめる習慣をつけるようにする。
- ・筆算の仕方を指導する時は、数カードの操作と関連付けて位ごとの計算を丁寧な扱っていく。
- ・児童が、筆算の仕方を数カードや言葉で説明する機会を作る。
- ・説明をできるようにするために、ペアによる説明を多く入れていく。

3 単元の目標と観点別評価規準

- 既習の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

[知識・技能]

- ・2位数の加法及びその逆の減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。

[思考・判断・表現]

- ・既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。

[主体的に取り組む態度]

- ・2、3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

4 単元指導計画 10時間

	小単元	評価場面		
		知・技	思・判・表	主体的に取り組む態度
1	①たし算のひっ算	○		○
2		○	○	
3	②れんしゅう	○		
4	③ひき算のひっ算 【本時】	○		○
5		○	○	
6		○	○	
7		○	○	
8	④大きい数のひっ算	○		
9		○		
10	まとめ	○	○	○

5 本時の指導

(1) 目標

3位数－2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

(2) 評価規準

概ね満足できる	努力を要する児童への手立て
<ul style="list-style-type: none"> 既習の減法との違いをとらえ、既習の筆算の仕方を基に、3位数－2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考えようとしている。 【主体的に取り組む態度】 3位数－2位数の計算が1位数の計算を基にしてできていることを理解している。【知・技】 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の筆算の仕方を基に考えていくというヒントを与える。 まとめを一緒に読みながら、十の位から引けない時は、百の位から繰り下げることが個別に支援する。

(3) 研究の視点

【視点1】 課題設定の工夫

・「つかむ」では、前時までの学習と本時の学習の違いに着目させ、課題意識をもつことができるようにする。

【視点2】 全員参加型の言語活動の工夫

・「みとおす」では、既習の2位数－2位数の筆算の仕方を想起させ、自力解決の手がかりとする。

(既習を生かした見通し)

・「たしかめる」では、「百の位の1は、どう変わったか。」という学び合いのポイントを提示し、話し合いを焦点化する。(学び合いのポイント提示)

・「たしかめる」では、友だちの考えを読み取ったり、学習内容の理解を深めたりする発問をする。

(発問の吟味)

・「ふかめる」では、評価問題を解くことで筆算の手順の理解を深める。また、本時分かったことや友だちのよさをノートに書くことにより、次時への意欲を高める。(振り返りを生かす)

(4) 展開

学習過程	学習活動	○指導上の留意点 ※支援
つかむ 5分	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> メダルを、ぜんぶで129こ作りました。 53こくばると、のこりは何こですか。 </div> <p>2 課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 引かれる数が3けた ・十の位から引けない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 十のくらいがひけない時のひっ算のしかたを考えよう。 </div>	<p>○テープ図の「全部の数」と「配った数」を記入させ、問題をとらえさせ、立式できるようにする。</p> <p>○既習の減法の筆算との違いをとらえやすいようにカードを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【視点1】 「つかむ」では、前時までの学習と本時の学習の違いに着目させ、課題意識をもつことができるようにする。</p> </div>
みとおす 3分	<p>3 課題解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えの見積もりをする。 方法の見通しをもつ。 考え方の見通しをもつ。 	<p>○数直線を提示し、29と53のおよその数が分かるようにする。</p> <p>○どの児童にも方法の見通しをもてるように既習事項を掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【視点2】 「みとおす」では、既習の2位数－2位数の筆算の仕方を想起させ、自力解決の手がかりとする。</p> </div>
かんがえる 6分	<p>4 自力解決</p> <ol style="list-style-type: none"> 筆算をノートに書く。 筆算の仕方を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> 数カードで操作 言葉で説明 	<p>○位をたてに揃えることを全体で確認する。</p> <p>○次に何をやればよいか分かるように学習の進め方を提示する。筆算→数カード→言葉で説明</p> <p>※既習の筆算の仕方を基に考えていくというヒントを与える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の減法との違いをとらえ、既習の筆算の仕方を基に、3位数－2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考えようとしている。 <p>【主体的に取り組む態度】</p> </div>
たしかめる 18分	<p>5 学び合い(ペア学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えと筆算の仕方を交流し合う。 <p>6 学び合い(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆算の仕方と数カードの操作を全体で話し合う。 考えを整理する。 <p>①一の位の計算 $9 - 3 = 6$</p> <p>②十の位の計算 2から5は引けないので、百の位から1繰り下げる。 $12 - 5 = 7$</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【視点2】 ◇学び合いのポイント 百の位の1は、どう変わったか。</p> </div> <p>○操作した児童の考えを全体で話し合うことで筆算の仕方を理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【視点2】 ◇発問の吟味 (理解を深める)</p> <ul style="list-style-type: none"> 百の位の1は、何に変わりましたか。 (筆算の10を指し)この10は、何を表していますか。 </div> <p>○数カードの操作と筆算の仕方を関連付けてまとめる。</p>

